

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月01日

計画の名称	鉄道高架化による J R 松山駅周辺の渋滞箇所・市街地分断の解消（交通拠点連携集中支援）											
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	愛媛県											
計画の目標	鉄道を高架化することにより、J R 松山駅周辺の渋滞箇所の解消、周辺道路の混雑緩和など、都市交通の円滑化を図るとともに、東西に分断された市街地を一体化することにより周辺市街地の生活環境や都市機能の向上を図る。 また、J R 松山駅周辺道路における自動車交通の円滑化が図られることにより、道路施設利用者や歩行者等に対して安全性・快適性を提供する。 （※連続立体交差事業については、事業完了により効果発現が期待できることから、最終目標値をH36と設定する。）											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,851	A	10,851	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H32	H36
1	鉄道の高架化により8箇所の踏切を撤去することにより、踏切による自動車交通の遮断を解消し、道路利用者の時間損失の改善を図る。 踏切交通遮断損失時間（千台時/日）の改善 踏切交通遮断損失時間（千台時/日）= 1日当たりの自動車交通量（千台/日） × 1日当たりの踏切遮断時間（時間/日）	66千台時/日	66千台時/日	0千台時/日
2	鉄道の高架化により8箇所の踏切を撤去することにより、踏切による自動車交通の遮断を解消 踏切遮断時間（時間/日）の解消 踏切遮断時間（撤去対象踏切8箇所）（時間/日）= 整備前の踏切遮断時間（時間/日） - 整備後の踏切遮断時間（時間/日）	17時間/日	17時間/日	0時間/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	愛媛県	直接	愛媛県	S街路	改築	JR予讃線連続立体交差（ 松山駅付近）	連続立体交差 L=2.4km、 高架側道 L=2.0km	松山市	■	■	■	■	■	10,851	1.03	—
		※国債設定（予定）H30～35																	
											小計						10,851		
											合計						10,851		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	公表の方法

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業効果の発現に向け工事の進捗を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	連続立体交差事業は、高架区間における8箇所の踏切が除却されるまで、その主たる事業効果を十分に発揮できないが、その他区間では計画どおり3箇所の踏切が既に除却済みであり、踏切事故及び渋滞が解消されている。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、補助事業により事業効果の発現に向け取り組む。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	踏切交通遮断損失時間の改善		
	最終目標値	0千台時／日	工事实施に必要な用地について、計画的な取得に努めてきたところであるが、市街地のため関係権利者が多く用地取得が長期化したことや、大型物件の移転に時間を要したこと等により、工事着手に必要な土地の確保に時間を要したことから、目標値を達成するまでの工事進捗が図れなかった。
	最終実績値	66千台時／日	
踏切遮断時間の解消			
2	最終目標値	0時間／日	工事实施に必要な用地について、計画的な取得に努めてきたところであるが、市街地のため関係権利者が多く用地取得が長期化したことや、大型物件の移転に時間を要したこと等により、工事着手に必要な土地の確保に時間を要したことから、目標値を達成するまでの工事進捗が図れなかった。
	最終実績値	17時間／日	